

第1回

OneWelfare教育研究センター (仮称) セミナー

「ヘリコバクター・ピロリの 宿主適応と持続感染」

日時：02月22日 (水) 16:00～17:00

場所：iCover 1F 101

講師：三室 仁美 先生

大分大学グローバル感染症研究センター 教授

Helicobacter pylori (ピロリ菌) は、乳幼児期に経口的に体内に入ると、何十年にもわたり胃粘膜に付着性の持続感染を成立させて、胃炎や胃癌等の消化器疾患を引き起こす。本菌は、遺伝子変異を起こしやすく遺伝的多様性に富む特徴を有する。この特性は、ピロリ菌が宿主生体に適応して持続感染を成立させるのに重要であると考えられている。すでに持続感染の結果として胃疾患を発症した患者からの臨床分離株の解析研究のみでは、感染成立過程の全容を理解することができないことから、実験動物モデルを用いた研究が必要となる。我々はスナネズミおよびマウスを用いたピロリ菌動物実験モデルを用いて、ピロリ菌が宿主に適応する際に菌体に導入されるゲノム変異の網羅的解析を行った。本講演では、この解析により明らかになった、ピロリ菌の環境適応と持続感染メカニズムを中心に紹介する。

連絡先：清水 隆 (5895)、度会 雅久 (5831)